

研修講師養成研修の修了証を手渡す大西短期専門家



★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★★SINRAI PROJECT★

SINRAI PROJECT

JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト

ニュースター第 14 号
2017 年 8 月



主な内容 (次項)

大西短期専門家による研修制度構築および研修講師養成研修が実施されました。

6 月 25 日～7 月 8 日、大西短期専門家がモンゴルを訪問し、モンゴル医療・社会保険庁において、前半は研修制度構築について、後半は研修講師養成についての研修を実施しました。研修制度構築



講義を行う大西短期専門家



グループでの討議

研修では、まず、大西短期専門家から研修の企画から実施までの流れについての講

義が行われました。その後、講義を踏まえてグループに分かれ、研修ニーズの把握、研修カリキュラムやスケジュールの作成等について検討するケーススタディに取り組み、その結果を発表しました。



グループによる発表

研修講師養成研修では、庁および医療・社会保険事務所の職員に対し



グループでの模擬講義

て、研修を実施する講師としての応用的な知識や技術を身につけてもらうための講義を行いました。また、その講義を踏まえてグループごとに異なったテーマで職員に対して模擬講義を行いました。模擬講義では、研修参加者を飽きさせないような工夫や、経験の浅い職員でもわかりやすいような説明や資料作成が心がけられていました。



模擬講義の様子

研修制度の構築や経験豊富な研修講師を養成し研修の質を上げることは、医療・社会保険庁や事務所の業務効率の改善にもつながるため、とても重要視されています。今回の研修には、ウランバートル市や地方の事務所からも積極的な参加があり、また研修実施に際して庁の多くの関係者からのサポートがあったことについて、プロジェクト一同大変嬉しく思っています。



連載「草原の国の社会保障」

今回は、「平均寿命が 40 歳の国」についての記事です。(写真：バガノール区医療・社会保険事務所でのミーティングの様子)



JICA 広報グランプリ・メディア部門 賞を獲得

SINRAI プロジェクトの広報活動が評価され、JICA 広報グランプリ・メディア部門賞を獲得しました。(写真：プロジェクトの活動が日本の新聞に掲載され、喜ぶ高梨専門家)

草原の国の社会保障（第 14 話） 「平均寿命が 40 歳の国」

皆さま、こんにちは。

今回は、アフリカのある国の話を通して、平均寿命が示すデータの「落とし穴」について考えてみましょう。

もう十年以上前の話ですが、アフリカのある国から「多くの高齢者の生活を良くするため、55 歳から年金を受給できる制度を新しく創りたいので、日本に協力をしてもらいたい」という依頼があり、対応したことがあります。

その国の事情を少しでも多く知ろうと、国際機関に登録されている様々なデータを集めたところ、気になるデータがありました。それが、「平均寿命」です。なんと、男女とも 40 歳前半でした。平均寿命が 40 歳前半なのに、55 歳から年金を受給できるような制度を創りたいという国とはどのような事情なのでしょう。

そこで、あるデータに注目しました。それが「乳児死亡率」です。乳児死亡率というのは、生まれた赤ちゃんが翌年の誕生日を迎えることができるかどうかを測る指標です。そして、残念ながら、この国の乳児死亡率は、とても高い数値を示していました。次に注目したデータは「乳幼児死亡率」。これは、生まれた赤ちゃんが 5 歳を迎えることができるかどうかを測る指標です。これも非常に高い数値でした。つまり、依頼をしてきたアフリカの国は、たくさん子どもたちが 5 歳を迎えることができない一方で、高齢者も存在するという状況だったということなのです。

ところで、モンゴルの「乳児死亡率」「乳幼児死亡率」は劇的に改善しています。このため、モンゴルの平均寿命は、更に長くなっていくと予測できるのです。実は、どこの国でも高齢者は長く生きています。しかし、問題は「大人になる前に亡くなってしまふ子どもたち」がどれだけいるかなのです。繰り返しに

なりますが、平均寿命という指標は、高齢者がどれだけ長生きできるのかという指標ではなく、子どもが大人になれるかどうかを示す指標だということが、この事例から理解していただけたと思います。

チーフアドバイザー 山下 護

第二回プロジェクト合同調整委員会の実施



(↑写真：合同調整委員会でこれまでの活動について説明する山下チーフアドバイザー)

6 月 29 日、SINRAI プロジェクトの第二回目となる合同調整委員会（Joint Coordination Committee, 通称 JCC。プロジェクト・ディレクターを議長として行われる会議であり、プロジェクトの活動報告や実施計画について、議論・承認を行うものです。）が労働・社会保障省にて開催されました。2017 年前半のプロジェクト活動報告を行ったほか、後半の活動計画について出席メンバーで議論をし、承認を行いました。

また、プロジェクトの活動やモンゴル側の現在のニーズに合わせて、プロジェクトの目標なども変更を加え、承認がなされました。2017 年の後半も日本から専門家を招聘しての研修や、年金普及ボランティアの導入にチャレンジするなど、多くの活動が予定されています。

(写真 2：発言を行うサラン医療・社会保障庁副長官)



JICA 広報グランプリ・メディア部門賞獲得

SINRAI プロジェクトの広報活動が、2017 年 JICA 広報グランプリ・メディア部門賞を受賞しました。JICA 内部の賞ではありますが、世界の多くの国で様々な活動を行っている中で、当プロジェクトの活動が選ばれたことは光栄に思います。

SINRAI プロジェクトによる新聞記事連載、テレビ番組出演、ネットニュースへの記事投稿、ニュースレターの定期発行、SNS での発信等、多様な広報手段を組み合わせて効率よく広報活動を行い、JICA やプロジェクトの活動の認知度向上に貢献したことが評価されました。今後も皆さまにわかりやすい広報・情報提供を心掛けて参りますので、引き続きご支援の程よろしくお願いたします。

JICA モンゴル事務所ニュースレター・広報グランプリ・メディア部門賞獲得記事 URL（日本語）
https://www.jica.go.jp/mongolia/office/others/ku57pq0000ryrvvg-att/newsletter_201707.pdf



(↑写真：JICA からの賞状とプロジェクトの記事が掲載された新聞)

SINRAI プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル医療・社会保障庁内 6 階 602 号室
電話(FAX)番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから <http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

